

中国地域ニュービジネス奨励賞

表彰事業

法面工事の画期的工法「無足場アンカー工法」の展開

スポリカ 株式会社

代表取締役 あらはま 荒濱 ゆうじ 優治



受賞理由

ワイヤー緊張方式で足場仮設を不要とする特許工法「無足場アンカー工法」と、ロータリーパーカッション式の二重管削孔を可能とした軽量削孔機を開発している。これにより、従来からの斜面に大規模足場を仮設し重量削孔機により施工する鉄筋挿入工・アンカー工では対応できなかった土砂災害や治山工事現場での施工を可能にしている。販売面では、無足場アンカー工法協会を設立し、全国展開を行っている。このほか、緑化製品や地滑り対策製品と無足場アンカー工法を組み合わせることによって、施工困難で観光地の価値を低下させるような剥き出し放置地滑り斜面を緑化で安定させることも可能となる。高所地・狭小地・飛び地など従来工法では施工が困難な場所でも施工できることから、全国の土砂災害復旧等に大きく貢献するものと思われる。

ポイント

- ・ 特許工法である「無足場アンカー工法」により、高所地・狭小地・飛び地などでの地滑り斜面安定工事を可能としている。
- ・ 安全性の高い無足場工法に加えて、二重管削孔を可能とする軽量削孔機を開発したことにより、施工性・経済性の高い工法となっている。
- ・ 無足場アンカー工法協会を設立し、全国の会員企業へ特許工法許諾を行い、全国への工法普及を図っている。

事業概要

スポリカ株式会社の「無足場アンカー工法」は、独自開発の軽量二重管削孔機により、どこでも大型機並みの性能を発揮できるため、高削孔長を必要とする排水ボーリングも可能というものである。住宅密集により大型機搬入が困難となっている都市部の盛土団地では、液状化対策が困難を極めるものの、無足場アンカー工法で施工すれば、施工位置に制約が無いので活用範囲が大いに広がり、そうした利点を含め、現在は各方面に技術提案を行っている。また、砂防ダムは通常流下土砂による満砂により土石流対策効果が劣化していくことへの対策として高所域の土石流の元となる高所地域の土砂崩落防止をする溪流砂防事業を政府へ提案している。現在、技術を共有する無足場アンカー工法協会員は、全国60社(2014.3現在)加盟しており、今後、海外進出を含め、土砂災害対策工法を多方面に普及すべく、事業展開計画を進めている。

推薦団体 (株)山陰合同銀行 日野橋支店

会社所在地	本社 / 〒683-0804 鳥取県米子市米原4丁目6-19 アルファスマート米原906号		
T E L	0859-57-3520	U R L	http://www.muashiba-anc.com/contents/muashiba/
会社設立	平成19年8月24日	従業員数	5名(平成26年4月1日現在)
資本金	10百万円	売上高	68百万円(平成25年6月期)

施工対応

経済性

高品質

安全性

実績抜群

どこでも真実の二重管削孔が出来る日本の最先端技術

無足場アンカー工法

NETIS 登録CG-090003-A

震災・さまざまな土砂災害・・・明日の為に先進技術がここにあります！
設計者・発注者のみなさん、次元の違う工法性能を活用してください！

【施工用途】

①斜面災害対策工

- 最良品質の単管・二重管削孔・・・鉄筋挿入工
- 施工対応性・経済性抜群のグランドアンカー工
- 高所・狭小地・・・場所を選ばない集排水工
- 樹林を残して安定できる樹間アンカー施工



②液状化対策工

- 集排水・砂杭・強制排水など

【特長・効果】 削孔径～125mm、削孔長～20m、全土質二重管削孔！

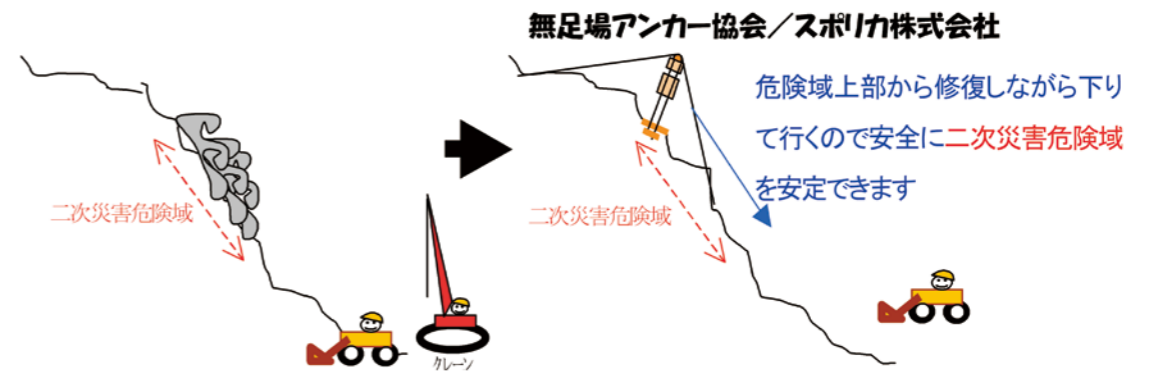
①斜面災害対策工

- 新開発小型削孔機で削孔性能抜群
- 仮設足場不要のワイヤー移動施工
大型機同様のロータリーパーカッション削孔
- 複数削孔機で同時施工可能
- 施工困難地をなくした施工対応性

施工対応性・経済性・施工品質・
安全性など全面的な向上効果！

②液状化対策工

- 何処でも完全二重管削孔可能



早期復旧が大事！

環境保全を考える・・・スポリカ株式会社

TEL 0859-57-3520 FAX0859-29-1836

URL <http://www.muashiba-anc.com/contents/muashiba/> 詳細はホームページにて！

E-Mail srk@triton.ocn.ne.jp